

もっともっと本に親しもう!!

～ 寺田秀美 教頭先生の巻 ～

(題字は二年一組 江袋羽玖さんです。)

日に
新
た



第四十六号
大島中学校
学校だより
令和七年十月十一日



(本の中の記述より)

「中学校数学授業成功の極意」
玉置崇着
明治図書

・十数年前、数学の授業のやり方を見直そうと思って、10頃に会った本です。
・「あり、そうか。」「こんなふうに考えればいいんだ。」など、その当時の私の悩みにしつくりと答えてくれました。
・今も、この本を聞いて、日々の授業を見直しています。
・私のバイブルです。

授業でこんな発言をする生徒の実際にいたの。ほんとうにびっくりしました。同時に、この本がすごさも実感しました。

また、連立二元一次方程式は、文字を1つ消して一元一次方程式に帰着して解いたことを強調すれば、「一元二次方程式は次数を減らして一元一次方程式に帰着させる解き方があるのでは？」と考える生徒が出てくると思います。一元二次方程式を因数分解によって一次式の積にすることは、一元二次方程式を一元一次方程式に帰着することにほかなりません。

「まいにち元気なぞ!!」
と云ふ大事なことです。

心の解放感

スクールカウンセラー
菅原理恵

「めんどくさい」の裏側にあるもの②～子どもの「自ら伸びる力」を引き出すヒント～

保護者のみなさま

今回は、お子さんの無気力が「失敗への恐れ」と「自立のサイン」であるとお伝えしました。今回は、親が「コントロール」を手放し、お子さん本来の「自ら進んで取り組む気持ち」を育てるための具体的なヒントを3つご紹介します。

① 小さなことでも「自分で決めてもらう」

小さなことでも「自分で決めてもらう」ことが大切です。親が「今すぐやりなさい」と指示する代わりに、「宿題はいつ、どこでやる?」といった小さな選択枝を委ねます。自分の行動を自分で決める体験が、意欲の土台となります。例えば、「今日は〇時までには寝る」というルールだけは守ろう。それまでの時間の使い方はあなたに任せるよ」といったものです。

② 結果だけではなく「頑張ったプロセス」に注目

結果だけではなく「頑張ったプロセス」に注目しましょう。「苦手な問題に粘り強く取り組んだ意味があったね」「この努力は次のステップにつながるね」と頑張ったことの「心の栄養」になる部分に焦点を当てて認めてあげてください。

③ 親の目標を押しつせず、子どもの「好き」を一番に尊重

親の目標を押しつせず、子どもの「好き」を一番に尊重することも重要です。親が考える理想の目標ではなく、お子さんが持つ小さな興味の芽(例: ニュースで見た話題を調べたいという気持ちや、夢中になっている本やマンガの舞台となった場所)を尊重してみましょう。お子さんの内側にある「好き」から、意欲は最も持続可能なエネルギーとして広がっていきます。

思春期の子どもを「やる気にさせる」ことはできませんが、「自分でやる気を出す土壌を耕す」ことはできます。焦らず、お子さんの内側にある小さな「自ら進んで取り組む気持ち」を大切に見守っていきましょう。

おめでとう! 男子バレー部

～県北新人大会 第3位～



新人県大会は、11/8(土)、11/9(日)に行われ、
3位を獲得し、健闘を祈ります。

超大事なお知らせ!

11月6日(木)は、お弁当持参です。

この日、市教委研究委託協力校として、本校で、研究公開が行われます。

市内の小・中学校の先生方、市教委の先生方など、多数の来場者が見込まれます。

特別時程に研習のり。給食の弁当持参とさせていただきます。

ご理解、うえ、ご協力賜りますようお願いいたします。